

少量肉盛溶接作業の安全性について

当社の製品である少量肉盛溶接機を使用した溶接作業の安全性について、下記の通りご連絡させていただきます。

モールド溶着機について 型式: C20型 / C22型 / C25型 / SP01型 / SP03型



金属の抵抗熱を利用して金属同士を溶接する方法です。基本的には、0.1t～0.2tまでの極薄板や、0.1φ～0.6φまでの極細線及び200メッシュの粉末材を使用する特殊な溶接方法です。電圧は素手で電極に触れても危険性が無いよう、3V以下に抑えてあります。

モールド溶着機の作業
保護手袋は着用の事

Dr. 溶造機について 型式: DY1000型 / DY6000N型 / YOZOSYSTEM型 / YW310型 / YW300型



Dr. 溶造機は精密パルス・スポット TIG 溶接機です。金型補修専用機として開発し、ヒケ・歪み等が出ない溶接機です。

微小アークがスポット的に発生する為、作業周辺に火災等の心配をせずに作業が行えます。

一般の Tig 溶接機等とは比較にならない小さなアークになります。
(保護グラス等は着用)

Dr. 溶造機の作業
保護手袋は着用の事

- 当社のモールド溶着機 / Dr. 溶造機ともに金型補修を行った箇所を素手で触れても、手に火傷をする様な熱（温度）がありません。
- 一般の溶接機のように火傷をしたり、引火の危険性はほとんどありません。
- 精密溶造溶着機（Yozo System）は、モールド溶着機と Dr. 溶造機（DY1000）を一体化させた機械になります。
- 当社の肉盛補修機を使用する為の資格・届出等は必要ありません。

以上